

令和2年度 第7回吉川区地域協議会次第

日時：令和2年10月15日（木）午後6時30分
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

4 協議事項

(1) 頸北地区地域協議会委員合同研修会について

(2) 今後の吉川区地域協議会の活動について

(3) 令和3年度地域活動支援事業吉川区採択方針の検討について

(4) その他

5 総合事務所からの諸連絡について

6 そ の 他

7 閉 会

令和2年度 頸北地区地域協議会委員合同研修会 開催要項

【目的】

柿崎区、大潟区、頸城区、吉川区の地域協議会委員が一堂に会し、共通のテーマによる研修(有識者などによる講義など)を行うとともに、日頃の活動状況などについて情報交換することを目的に開催する。

【日時】 令和2年10月24日(土) 13時30分

【会場】 上越市吉川体育館(住所: 吉川区原之町1819-1 ☎025-548-2177)

【研修内容】

■研修

- ① 演題 「地域医療構想と地域包括ケア」～上越・頸北地域を考える～
講師: 新潟県上越地域振興局健康福祉環境部
上越保健所 所長 山崎 理(おさむ)様
- ② 演題 「地域作りの中での柿崎病院の今後」
講師: 新潟県立柿崎病院後援会 会長 楡井 辰雄 様
- ③ 質疑応答

■情報交換

各区地域協議会の活動報告

■懇親会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催しない。

○出席者(見込み)

・柿崎区地域協議会(吉井 一寛会長)	14人	
・大潟区地域協議会(君波 豊会長)	14人	
・頸城区地域協議会(井部 辰男会長)	14人	
・吉川区地域協議会(山岸 晃一会長)	12人	委員合計 54人
・各区事務局(各区所長、事務局2人程度)	13人	事務局合計 13人
		総合計 67人

(裏面に続く)

【その他】

- ・各事務所から会場までの送迎に市のマイクロバスを運行
（往復：柿崎区、大潟区、頸城区に各1台、吉川区は各自家用車利用）
- ・委員費用弁償は、各区予算で対応

※ 今後の新型コロナウイルス感染症の発生拡大等により、中止する場合があります。

○日 程

時 間	内 容	説 明
13：30	開会	開会宣言（司会者：吉川区地域協議会 副会長）
13：35～	開会挨拶	吉川区地域協議会 会長
13：40～14：40	研修	(1) 演題：「地域医療構想と地域包括ケア」～上越・頸北地域を考える（40分） 講師：新潟県上越地域振興局健康福祉環境部 上越保健所 所長 山崎 理（おさむ）様 (2) 演題：「地域作りの中での柿崎病院の今後」（10分） 講師：柿崎病院後援会 会長 楡井 辰雄 様 (3) 質疑応答（10分）
14：40～15：00	休憩	
15：00～16：00	情報交換	各区地域協議会から10分程度の活動報告をしてもらおう。（活動報告書、各区地域協議会だより等により説明） 各区の説明終了後、質疑応答を行う。（20分）
16：00～	閉会挨拶	柿崎区地域協議会会長（次回開催区）
16：10～	閉会	閉会宣言（司会者）
16：15	解散	

協議テーマ見出し

テーマタイトル	提案者氏名
若者から学ぼう	五十嵐 豊
交通環境の充実と交通弱者対策の推進	薄波 和夫
空き家対策と定住促進	江村 奈緒美
防災について	
次世代の定着、定住へ（吉川の未来を考える）	大滝 健彦
買物難民	片桐 利男
若者定住	
新潟県立吉川高等特別支援学校生徒の今後（農・福連携による職場の確保）	
交通手段	佐藤 均
地域づくり	
吉川区の人口減少と子供の増加対策	関澤 義男
高齢者が限界集落、過疎地域でも安心安全に生活できる対策	
吉川区の住民を対象にした吉川区地域協議会に望むアンケートの実施	
交通弱者、買物弱者に対する支援	高野 幸夫
企業誘致について	
各団体とのコミュニケーションづくり	
移住者の促進とフォロー（Iターン Uターン）	中村 正三
吉川区の人口減少を食い止める。	山岸 晃一
吉川区の地域力を再発見する。	
元気な老人を増やす。	

協 議 テ ー マ

(委員氏名：五十嵐 豊)

テーマタイトル	提案理由
1 若者から学ぼう	<p>若い世代の中学生と共に、吉川区の将来を見据えた中で現状を洗い出し、その中から吉川区の魅力を再認識していただくことで、若者の区外への流出防止や、吉川区への転入促進に結び付けていく。</p> <p>「例えば」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ S t e p - 1 吉川中学の生徒とコラボし、吉川区の良い面・悪い面、好きな所・嫌いな所、(場所や行事等々)、吉川区に望むことなどを自由に話してもらう。 ・ S t e p - 2 改善すべき点は地域協議会で別途協議・検討する。 良い面(所)を纏め、その内容をどう活かすかを生徒と共に検討していく。 ・ S t e p - 3 ~ 吉川区の魅力などを冊子やブログなどで区民は勿論、区外へも積極的にアピールしていく。 等々

協 議 テ ー マ

(委員氏名：薄波 和夫)

テーマタイトル	提案理由
1 交通環境の充実と交通弱者対策の推進	・公共交通の廃止や削減、高齢化による免許返納や移動困難者の増加等により、流通・経済・交流など多くの活動が衰退していくことが地域全体の疲弊にもつながるため、地域活性化のためにも重要な生活基盤である交通環境の充実を図るとともに、交通弱者対策の推進を図りたい。

協 議 テ ー マ

(委員氏名：江村 奈緒美)

テーマタイトル		提案理由
1	空き家対策と定住促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスとそれに伴う生活の変化によって都会から田舎への移住を考える方が増えていると思われます。新しく家を建てるより、今はリノベーションをする方が喜ばれる傾向があるので、空き家の把握、そのまま住めるのか、改善が必要か調べること。 ・ 連携先として市の担当や企業、NPO などどのようなところと繋がるのがいいのか、そこも含めて検討して、発信していくまでやれたらよいと思います。
2	防災について	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつ大きな被害があるかわからない昨今、実際に災害があったことを想定して、地域ごとに訓練をしていく必要があります。 ・ 今回の地域活動支援事業で配備されるリヤカーなどの災害備品等がどこにあるのか、地域の町内会長さんを始めとする役員だけでなく、全住民で把握しておく必要があります。クリーン作戦やお祭りの時など各家庭から参加している機会に、防災備品の把握や実際の体験をするように進めていくのはいかがでしょうか。

協 議 テ ー マ

(委員氏名：大滝 健彦)

テーマタイトル	提案理由
1 次世代の定着、定住へ (吉川の未来を考える)	・若い人が他の地域へ流出していく。 ・農地を管理する人の高齢化。
<p>前期の地域協議会で各地域に出向いての出張地域協議会を行った結果の中から、地域の問題点、要望等があったと思われます。その中でまだまだ私たちにできることがあると思いますので、掘り起こしてはどうかと思います。再度内容を確認して、まだ住民の皆様にお答えしていないものが多くあると思います。そこから見直してみてもと思います。</p>	

協 議 テ ー マ

(委員氏名：片桐 利男)

テーマタイトル		提案理由
1	買物難民	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と商店の後退、公共交通の縮小で身近な買物が不便になった。 ・自転車マナーの低下が著しい。
2	若者定住	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用が少なく、故郷に魅力がない ・子育て環境にも不安がある。
3	新潟県立吉川高等特別支援学校生徒の今後（農・福連携による職場の確保）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の農・福連携の現状で見ることでなく、近代農業の先を見て、通年雇用で個別の能力を発揮してほしい。 <p style="text-align: center;">（※水稲＋園芸＋加工）</p>
<p>○区内の組織と連携できないか？ （例：まちづくり、公民館など（共催））</p>		

協 議 テ ー マ

(委員氏名：佐藤 均)

テーマタイトル		提案理由
1	交通手段	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢化に伴う移動手段の確保・ 少額負担での新しい仕組み
2	地域づくり	<ul style="list-style-type: none">・ 少子高齢化での既存の町内会等行政、行事行く詰まり・ 元気な地域づくり

協 議 テ ー マ

(委員氏名：関澤 義男)

	テーマタイトル	提案理由																
1	吉川区の人口減少と子供の増加対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上越市の中でも吉川区の人口減少は深刻な影響を及ぼしている。今後、抜本的な施策をしなければ吉川区は消滅してしまう。 ・ 限界集落が源地区で全集落、旭地区では1集落、吉川区全体では50%が限界集落である。 <p>※参考（令和2年4月1日現在の住基台帳）</p> <p style="margin-left: 40px;">生産年齢人口（15歳～64歳） 2,076人</p> <p style="margin-left: 80px;">※（20歳～64歳） 1,887人</p> <p style="margin-left: 40px;">高齢者人口（65歳～100歳以上）1,668人</p> <p style="margin-left: 40px;">令和2年度吉川保育園入在園児数</p> <table border="1" style="margin-left: 100px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年児</th> <th style="width: 10%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>未満児</td><td>2人</td></tr> <tr><td>1歳児</td><td>11人</td></tr> <tr><td>2歳児</td><td>10人</td></tr> <tr><td>3歳児</td><td>13人</td></tr> <tr><td>4歳児</td><td>19人</td></tr> <tr><td>5歳児</td><td>14人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>69人</td></tr> </tbody> </table>	年児	人数	未満児	2人	1歳児	11人	2歳児	10人	3歳児	13人	4歳児	19人	5歳児	14人	合計	69人
年児	人数																	
未満児	2人																	
1歳児	11人																	
2歳児	10人																	
3歳児	13人																	
4歳児	19人																	
5歳児	14人																	
合計	69人																	
2	高齢者が限界集落、過疎地域でも安心安全に生活できる対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が38%（H27）を占める吉川区では、交通弱者の増加が懸念される。このため、通院・買い物弱者への支援が必要である。 ・ 高齢者のひとり暮らしが増加しており、緊急時の対応が心配である。 ・ 空き家が増えて危険である。 ・ 若者が減少し、祭りや地域行事、普請等を継続することが困難。 ・ 勤めで若者がいない時に、災害等が発生したら心配である。 																
3	吉川区の住民を対象にした吉川区地域協議会に望むアンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20項目の質問事項を作成したアンケート用紙を吉川区全世帯に配布する。 ・ アンケート結果の中で最重要課題から検討し課題を解決する。 ・ アンケートに記入する時は、家族全員の意見要望を記入してもらう。 																

協議テーマ

(委員氏名：高野 幸夫)

テーマタイトル		提案理由
1	交通弱者、買物弱者に対する支援	・中山間地域での高齢者、一人世帯が多いため。
2	企業誘致について	・若者が地元に着定できるシステムをつくりたい。
3	各団体とのコミュニケーションづくり	・いろいろなジャンルの人達とこれからの吉川を考えたい。

協議テーマ

(委員氏名：中村 正三)

	テーマタイトル	提案理由
1	移住者の促進とフォロー (Iターン Uターン)	・定年後、生まれた地元に戻ってくる方がいるがフォローが少ない。 ・また、新規移住者の増加により地域活性を図りたい。

協 議 テ ー マ

(委員氏名：山岸 晃一)

テーマタイトル		提案理由
1	吉川区の人口減少を食い止める。	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体が人口減少化している。そんな中吉川区でどうしたらいいのか、方策がないのか考える。 ・区として特色のある助成事業ができないか。
2	吉川区の地域力を再発見する。	<ul style="list-style-type: none"> ・区にはたくさんの観光資源が眠っている。 ・次世代の子供たちにも認識してもらう。
3	元気な老人を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増える中、元気老人を増やすことで区が明るくなる。

地域活動支援事業（吉川区）の募集・審査等に係る課題提出票

委員氏名	
------	--

令和3年度地域活動支援事業吉川区の採択方針の検討のため、問題点、反省点、課題、改善提案等があれば下記にご記入のうえ、11月2日（月）までに事務局までご提出ください。（FAX可／548-3011）

問題点、反省点、課題など	左記の対策・改善案など

令和 2 年度 地域活動支援事業 吉川区の採択方針

吉川区の採択方針等

吉川区における豊かな地域資源を生かし、いつまでも住み続けたいと思う地域づくりを推進するため、住民自ら自主的・主体的に取り組む事業について、上越市地域活動支援事業の補助採択にあたり吉川区の採択方針を定める。

1 採択する事業の分野等

(1) 吉川区では、下記に掲げる提案事業を採択する。

- ◆ 地域づくり活動に際し、各種団体と住民の協働や住民主体により行われる取り組みであって、より協働性が高く地域の活性化に資する事業
- ◆ 生活・生産基盤に必要な環境整備に資する事業
- ◆ 地域文化を守り育て、賑わいを創出する事業
- ◆ 子育て支援、青少年育成、福祉の充実など支えあいの心を育む事業
- ◆ 地域づくりを担う人材育成に資する事業

(2) 国、県、市、その他の団体が設置した他の補助制度の要件に合致する事業は採択しない。但し、地域協議会が必要と認めた場合は採択することができる。

(3) 同一団体による同様の事業は、10年間に3回を限度とする。但し、地域協議会が必要と認めた場合は、これを超えて採択することができる。

(4) 物品の購入や施設等の整備・修繕のみを目的とした事業は採択しない。但し、活動を行うために必要不可欠と地域協議会が認めたものは、採択することができる。

2 補助額の上限

補助額の上限は70万円とする。但し、地域協議会が必要と認めた場合は、この限りでない。

3 補助率

補助率は、原則として補助対象経費の100%とする。

4 採択審査

(1) 提案の詳細を把握するため、審査前に提案者によるプレゼンテーションを行う。

(2) 必要に応じて、審査前に全委員による現地視察を行う。

(3) 審査は全委員による採点を行い、順位を決定する。

(4) 全委員による採点で得られた平均点が25点満点中の13点に満たない事業は、不採択とする。

(5) 全委員による採点の平均点が高いものから順に区の配分額（以下「配分額」という。）までの範囲で採択する。累計提案額が配分額を超える時は、配分額の残額を限度として採択できるものとする。その際、辞退の申し出があれば、次の順位を得た事業を繰り上げて採択することができる。

5 提案団体の代表者である委員の取扱い

提案団体の代表者である委員は、採点に加わることができない。但し、協議に参加することを除外するものではない。

6 追加募集の実施

採択した事業の提案額の総額が配分額に満たない場合は、必要により追加募集を行う。

公の施設の再配置計画における各施設の方向性

第7回吉川区地域協議会
令和2年10月15日
資料No. 4

【現状維持】

施設名	施設カテゴリー		現状維持	今後の方向性(案)	完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考
				説明		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
国民健康保険吉川診療所	15	医療機関	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
吉川体育館	16	体育館	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
吉川スカイトピア遊ランド	26	交流宿泊施設	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
道の駅よしかわ杜氏の郷	27	観光施設	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
吉川地区公民館 (吉川多目的集会場)	47 (50)	公民館 (貸館・交流施設)	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
吉川地区公民館川谷分館	47	公民館	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
吉川コミュニティプラザ	49	コミュニティプラザ	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

【再配置】

施設名	施設カテゴリー		現状維持	今後の方向性(案)	完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考
				説明		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
福寿荘	11	高齢者交流施設	貸付又は譲渡	利用実態を踏まえ、学習・交流機能は、他の近隣施設への代替が可能であることから、民間に貸付又は譲渡する。	R4	継続	貸付又は譲渡									
吉川保健センター	14	保健センター	用途変更	保健センターの機能は、コミュニティプラザなどの貸館施設で実施することとし、用途変更する。	R4	継続	用途変更									
吉川野球場	17	野球場	計画後期に再配置	利用者数が減少傾向にあり、近隣に同様の施設があることから、計画後期に再配置する。	計画後期	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	計画後期に再配置					
吉川テニスコート	19	テニスコート	計画後期に再配置	利用者数が減少傾向にあり、近隣に同様の施設があることから、計画後期に再配置する。	計画後期	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	計画後期に再配置					
吉川緑地等利用施設	32	観光・レク施設 (その他)	廃止	遊具の老朽化が進み、修繕が必要となっており、維持管理経費と利用実態を踏まえ、廃止する。なお、パノラマハウス等のパラグライダー関連施設については、引き続き活用する。	R3	廃止										

【再配置】

施設名	施設カテゴリー		今後の方向性(案)		完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考	
				説明		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
源地域生涯学習センター	46	生涯学習センター	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R6	継続	⇒	⇒	貸付又は譲渡								
吉川旭地域生涯学習センター	46	生涯学習センター	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R7	継続	⇒	⇒	⇒	貸付又は譲渡							
吉川地区公民館東田中分館	47	公民館	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R5	継続	⇒	貸付又は譲渡									
吉川地区公民館泉谷分館	47	公民館	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R6	継続	⇒	⇒	貸付又は譲渡								
吉川地区公民館勝穂分館	47	公民館	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R5	継続	⇒	貸付又は譲渡									
吉川地区公民館源分館	47	公民館	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R6	継続	⇒	⇒	貸付又は譲渡								
吉川地区公民館旭分館 (吉川区旭地区農業拠点センター)	47 (48)	公民館 (地区集会施設)	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R7	継続	⇒	⇒	⇒	貸付又は譲渡							

【今後検討】

施設名	施設カテゴリー		今後の方向性(案)		完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考	
				説明		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
吉川地区公民館竹直分館	47	公民館	—														

【引き続き検討】

施設名	施設カテゴリー		今後の方向性(案)		完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考	
				説明		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
吉川ゆっつりの郷	24	日帰り温浴施設	保留														